



学校長が語る

「現在の」と「未来」のミッション

後編

TOP MESSAGE

ミッションを進めてきた学校改革は、国公立大学や有名私立大学への合格など、優れた進学実績につながっている。改革のキーパーソンである学校長・堀岡啓信からのメッセージ。

レベルの大学に進学を果たす生徒の姿が毎年多く見られるのです。なぜ、そのような事が起こるのか。その二因には、推薦入試制度の上手な活用が挙げられます。生徒たちは部活動や行事、中には留学へと、のびのびと学校生活を謳歌し、推薦制度を利用して希望大学への進学を果たしています。また、私立文系に関しては、難関大学に毎年複数合格者がでるのも本コースの大きな特長となっております。

自信の積み重ねが学力の向上に

「一般進学コース」

英理進学コースとともに入学後の伸び率が高いのが「一般進学コース」です。教育方針である「勉強プラスもうひとつ」を体現し、部活動も定期テストもきちんとがんばる、そんなパランスのよさが本コースの生徒たちにはあります。生徒が率先して行う学校行事、部活動、あるいは好きな習い事での自信の積み重ねが学習意欲につながり、結果として学力向上につながる生徒も少なくありません。また、最近4年生大学への進学率が上昇しているのも本コースの特長となっております。

躍進続ける「特別進学コース」

本校の特別進学コースも立ち上げから7年目を迎え、今や他校の進学コースにも引けをとらない実績を築きつつあります。今年度の3年生は24名で、そのうち19名が理系です。これは、従来の本校のイメージでは考えられないことであり、独自に構築した数学カリキュラムを二人ひとりに丁寧な指導したことで、生徒たちが「数学のおもしろさ」に目覚めた結果だと受け止めています。コース設立後、地元の国公立大学をはじめ、関西学院や同志社など、難関大学への合格者を輩出し、そんな先輩たちの背中を見て後輩も奮起するという良い流れが生まれつつあるのを実感しています。

推薦制度を上手に利用

「英理進学コース」

英理進学コースは、いい意味での驚きが毎年起こっているコースです。「1年次に行う模試の偏差値」と「最終的に合格した大学の偏差値（一般入試）」を比較した場合、20以上もアップしていることが珍しくありません。入学時には想像できなかった

本校の生徒たちは、難関大学合格を目指すハイレベルなコースであっても、決して勉強オンリーではなく、おらかな校風のなかで学校生活を楽しくしながら受験に挑戦しています。一般入試だけでなく推薦にも挑戦できる柔軟さも、本校の真骨頂である「

今年こそやりたい 「マイ夢」を伸ばす学校へ入

今年度は全体の約3割が男子生徒になったこともあり、現在部活動の全面的な見直しを進めています。文化部であれ、運動部であれ、熱中できる何かに懸命に取り組むことは、心身の訓練に不可欠であり、そのための環境をできる限り整えることが学校長としての使命（ミッション）だと思っています。

有名大学に入ることは確かに素晴らしいことですが、それが何より優先されるべき（他の一切を犠牲にしても）とは考えていません。本校の教育方針はやはり「勉強プラスもうひとつ」であり、部活動をはじめとした「もうひとつ」を薦める根底には、「一人ひとりを大事にすることで人間としての成長を促す」という本校が育んできた伝統があります。今や70%に届きそうな4年制大学進学率についても、「もうひとつ」の充実がもたらしている影響を与えた結果に他ならず、この教育方針を軸に学校改革を進める姿勢は今後も決して変わることはありません。

北陸学院中学校・高等学校校長
堀岡啓信
ほりおか ひろのぶ

Profile

1967年生まれ。七尾市出身。石川県立七尾高等学校卒。東京神学大学大学院修了。大学時代に約4年間、塾講師を務め、青少年教育への関心を深める。日本基督教団小松教会牧師(8年間)を経て、2005年より現職。

子どもが通ってよかったと思える学校

ミッションという選択

「勉強プラスもうひとつ」で伸びる
学力と人間性

生徒にスポーツや学校行事など、その時期にしかできない経験を積んでほしいというのが北陸学院の基本的な考えです。効率的なカリキュラムの授業で着実に次のステップへ進み、どの



コースの生徒も放課後は部活動や行事に取り組み「教育方針の「勉強プラスもうひとつ」で充実した時間を過ごし、個々に最適な受験スタイルで進学の夢を叶えた卒業生は、大学生活も生き生きと楽しむことができます。

世界を知る

北陸学院では、国際理解教育にも力を入れています。全生徒を対象とした日常的な教育に始

まり、短期海外研修や400名以上の留学生を送り出してきた長期留学、今後予定されている海外への修学旅行(高校)など、北陸学院だからできる国際理解教育も大きな魅力です。

生きるために大切なこと

今の混沌とした世の中で、豊かな人生を送るために必要な「生きる力」を身に付けるとき、重要な役割を果たすのが、キリスト教教育を土台とした心の教育です。毎朝の礼拝や学校行事を通じ、生徒は生きるために必要な心の強さを自然と身に付けることができます。



速報!! 同志社大学 特別推薦枠決定!!! (10学部13学科)

本校は2007年に同志社大学(京都府)と「キリスト教主義学校教育連携協定」を締結し、その協定の中で予定されていた本校への特別推薦枠が、この度正式に決定しました。この特別推薦枠は現高校3年生より適用され、同志社大学の10学部13学科への入学の道が大きく広がりました。学部は以下のとおりです。

神学部、文学部、社会学部、法学部、政策学部、文化情報学部、理工学部、生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部

入試制度の多様化に対応

以前の国公立は共通一次、私立は指定校推薦と一般入試という入試制度から、公募制推薦、AO入試、一般入試、センター試験利用など、さまざまな受験スタイルを選択できる時代になりました。近年は、個々の資質や能力を評価する推薦入試へのシフトが加速しています。

ミッションでは、学力や適正に応じた3コースを設定し、細やかな進路指導で生徒をサポート。推薦にも強く、関西学院大学・青山学院大学をはじめ、106大学400名以上(2010年現在の)指定校推薦枠があり、2011年度からは、同志社大学への15名程度の特別推薦制度もスタートします。さらに、総生徒数428名という規模ながら、難関国公立大学、難関私立大学への一般入試でも合格を果たした生徒も増え、一般入試にも強い学校としても定着しつつあります。

●特別進学コース(文系・理系)

難関国公立大学への進学を目指して

一般入試で難関国公立大学を目指すハイレベルなコース。一人ひとりの実力に合わせて、難関大学合格への確かなサポート体制があります。AO入試や公募制推薦にも対応し、2011年度(現高校3年生)からは同志社大学への特別推薦制度がスタートします。

■2009年度の合格実績(すべて現役合格) ※中高一貫進学コース含む ※人数はすべて「のべ人数」

【国公立大学】金沢大(医薬保健学域) 新潟大(農)
【私立大学】京都産業大(文化) 京都女子大(文)2名 京都文教大(臨床心理) 武庫川女子大(文、薬)2名 関西学院大(文)3名 東京農業大(応用生物科学、農)2名 日本大(生物資源科学) 同志社大(文) 明治大(農)

●英理進学コース(文系・理系)

主に推薦を利用して難関私立大学を目指す

主に推薦入試で難関私立大学を目指すコース。関西学院大学や青山学院大学をはじめ、多くの指定校推薦枠があり、AO入試や自己推薦での合格者も増えています。センター試験利用入試にも対応が可能であり、法学部や経済学部のほか、理工学部に進学する卒業生も多くなってきました。留学志望者にもおすすめのコースです。

■2009年度の合格実績(すべて現役合格) ※人数はすべて「のべ人数」

【国公立大学】金沢大(人間社会学域) 新潟大(工) 石川県立看護大(看護)
【私立大学】北陸学院大(人間総合)3名 関西学院大(教育、人間福祉、理工)4名 神戸女学院大(文)2名 国際基督教大(教養) 東京女子大(現代教養)2名 同志社女子大(表象文化、学芸)2名 日本大(国際関係) 学習院大(法)2名 京都ノートルダム女子大(人間文化)2名 同志社大(社会) 流通科学大(商) 日本女子大(理) 関西外国語大(外国語) 岐阜女子大(家政) 京都産業大(法)3名 仁愛大(人間生活) 日本女子体育大(体育) 桃山学院大(経営)2名 龍谷大(理工)4名 城西国際大(メディア) 北陸大(未来創造)3名
【短期大学】北陸学院大学短期大学部 日本歯科大学東京短期大学

●一般進学コース(文系のみ)

大学・短大・専門学校といった多彩な進路を選択

推薦入試で私立大学・短大を目指すならこのコース。「勉強プラスもうひとつ」を実現しながら、大学・短大・専門学校と多彩な進路に対応します。北陸学院大学への進学体制も整っており、特別推薦枠があります。また、MCAS検定・英検・漢検・秘書検など、将来に役立つ資格の取得をサポートします。

■2009年度の合格実績(すべて現役合格) ※人数はすべて「のべ人数」

【国公立大学】石川県立看護大(看護)
【私立大学】北陸学院大(人間総合)3名 大阪国際大(国際コミュニケーション) 岐阜女子大(家政) 京都ノートルダム女子大(心理) 神戸松蔭女子学院大(文) 仁愛大(人間) 北陸大(未来創造)3名 金沢学院大(美術文化、文)3名 金城大(社会福祉) 多摩大(経営情報) 星稜大(経済) 麻布大(環境科学)
【短期大学】北陸学院大学短期大学部9名 神戸大手前短大 聖母女学院短大 星稜女子短大

2010 OPEN SCHOOL

北陸学院高等学校(3年制) 体験入学のご案内

2010年7月29日(木)

- 時間/9:00~13:00
- 対象/中学校3年生の生徒とその保護者
- 場所/北陸学院高等学校

◎お申し込みは、各中学校の先生にお問い合わせください。



ふみだそう、はじめの一步を。

公立高校の負担軽減額と同額を支給

平成22年度から、公立高校無償化・高等学校等就学支援金制度が始まります。この制度では、公立高校の負担軽減額と同額が私立高校にも支給されます。

※詳細については、文部科学省ホームページをご覧ください。